

小林市 定例記者会見

令和4年6月3日 15時
市役所第1別館 大会議室

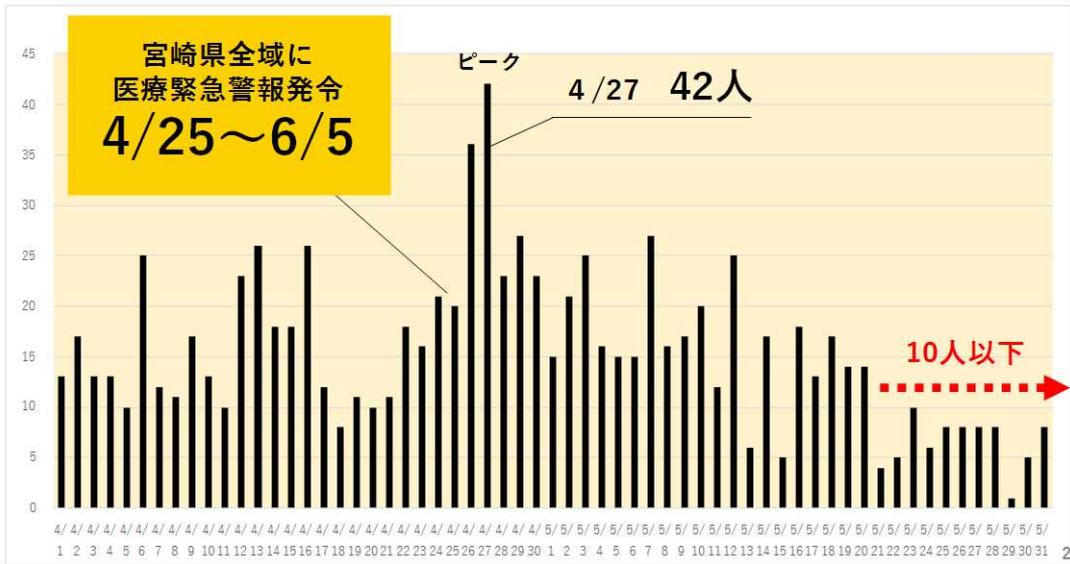


(市長説明の概要)

- 現在の市政運営の近況、6月定例議会に提出する議案を報告する

新型コロナ感染症関連情報

(1) 感染状況の推移 (第6波/4月・5月)



(市長説明の概要)

- 県独自の「医療緊急警報」の適用期間が6月5日まで延長
- 本市においては、第6波以降、市内在住の方の感染拡大が続き、市内におけるクラスターも多数確認されたが、現在は感染者数は減少傾向にある。
(4/27の42人がピーク。5/21以降10人以下の水準)
- 引き続き、感染リスクはゼロにならないことを前提に、感染拡大の防止と社会経済活動の維持・再生の両立を目指していく

新型コロナウイルス感染症関連情報

(2) ワクチン接種について

2回目接種 ▶▶▶▶ 92%を超える接種率

3回目接種 ▶▶▶▶ 約80%の接種率

(重症化リスクの高い65歳以上の高齢者は、約95%)

4回目接種 ▶▶▶▶ 対象

- ・ 3回目を完了した60歳以上の方
- ・ 18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方

市内で約2万人の見込み

順次、接種券を発行し、4回目接種に対応



(市長説明の概要)

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの接種について
- ・ 2回目までは、92%を超える県内でも高い接種率
- ・ 昨年末から始まった3回目の追加接種は、約80%の接種率。重症化リスクの高い65歳以上の高齢者は、約95%の接種率
- ・ 4回目の追加接種は、3回目を完了した60歳以上と18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する方が対象。該当者は、市内で2万人度の見込み
- ・ 順次、接種券を発行して、4回目接種に対応。5月25日から一部の医療機関で接種がスタートしている

○ 観光

(1) GWの入込客数増加



生駒高原



出の山公園



のじりこびあ

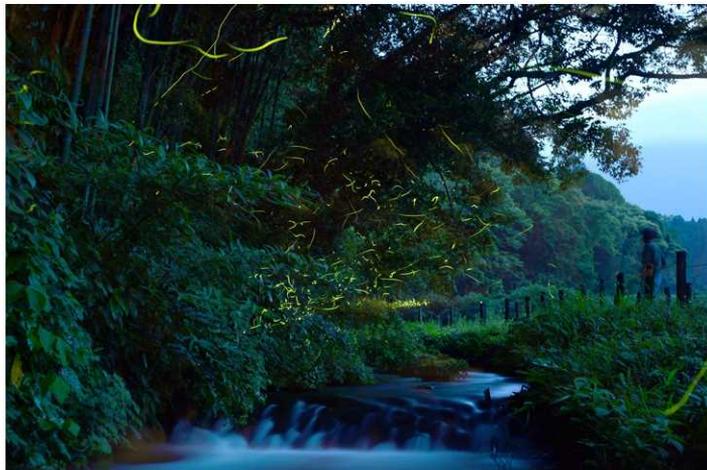
前年度比
200%

(市長説明の概要)

- ゴールデンウィーク期間中の、主要な観光施設の入込客数は、前年度比約200%と好調
- 行動制限がなかったことや生駒高原、出の山行動公園、のじりこびあなど屋外の施設で、感染対策を図って営業したことが要因と考えている

○ 観光

(2) 3年ぶりのホタルまつりに多くの来客



5月27日（金）、28日（土）、29日（日）
6月3日（金）、4日（土）、5日（日）

5

（市長説明の概要）

- 3年ぶり開催となった出の山公園のホタルまつりも、報道各社に取り上げていただいたおかげもあり、予想を超える人手となっている
- 夏休みに向け更なる観光客の増加を期待しているところ

脱炭素社会実現に向けて

(1) ゼロカーボンシティ宣言の表明

将来を担う次の世代へ「豊かな自然と共に安心して暮らせるまち」を残すため

2050年までに二酸化炭素の排出量ゼロとする

「ゼロカーボンシティこばやし」

を目指すことを宣言します。

※6月10日宣言予定



(市長説明の概要)

- ゼロカーボンシティ宣言を6月10日に表明する
- 気候変動問題は世界的な対応が求められているが、小林市においても行政・市民・事業者が適切に役割を分担し、地域の視点から地球温暖化防止対策に積極的に取り組む必要がある
- 将来を担う次の世代へ「豊かな自然と共に安心して暮らせるまち」を残すため、2050年までに二酸化炭素の排出量ゼロとするゼロカーボンシティこばやし」を目指すことを宣言する

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

（1）市政2期目の肉付け予算

補正前

260億

1236万9千円

6月補正（肉付け）

一審議分

980万円

+ **16億**

6358万円

一般会計
補正後

276億

8574万9千円

7

（市長説明の概要）

- 令和4年度当初予算は、義務的経費や継続的事業等が計上された骨格予算
- 今回の補正は、開会日一審議分を含め、肉付け予算として計上
- 一審議分は、繁殖用雌子牛の平均取引価格が大幅に下落するなど、繁殖農家の経営は厳しい状況に置かれているため、緊急対策として6月期セリ市分から繁殖農家を支援するための予算980万円を増額するもの
- 一般会計の通常分、16億6,358万円を増額して、補正後の総額は、276億8,574万9千円

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

（2）今年度の3つの重点施策

POINT >>>>>

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

新型コロナウイルス感染症や昨今の原油価格高騰などの社会への影響を的確に捉え、市民生活や地域経済を積極的に支援し、ポストコロナを見据えた取り組みをすすめ、持続可能なまちづくりを推進

POINT >>>>>

健幸のまちづくりの推進

誰もが元気で健康な人生を送り、活力ある地域社会を維持するため、市民総ぐるみによる「健幸のまちづくり」を推進

POINT >>>>>

地方創生の推進

ブランド力を高めその魅力を発信し、移住定住や関係人口の増加による人口減少の緩和や地場産品の流通量拡大と外貨獲得による地域経済の活性化を推進

8

（市長説明の概要）

- 今年度の予算付けの重点施策は大きく3点
- 新型コロナウイルス感染症や昨今の原油価格高騰などの「時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応」
- 誰もが元気で健康な人生を送り、活力ある地域社会を維持するため、市民総ぐるみによる「健幸のまちづくりの推進」
- 人口減少緩和や、地場産品の流通拡大などの地域経済の活性化を図る「地方創生の推進」

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

新規

園芸作物等燃油・資材高騰対策臨時給付金支給事業費

肉付け

事業費：60,056千円

概要

給付金支給

新型コロナウイルスや昨今の燃油価格及び農業資材等の高騰から、農業生産者の経営を守るため、市独自の対策を図る。



9

（市長説明の概要）

- 3つの重点施策のうち、一部の事業をピックアップして説明
- 「時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応」として、まずは今回補正予算で計上した「園芸作物等燃油・資材高騰対策臨時給付金支給事業費」
- 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、燃油価格・農業資材等の高騰が続いており、耕種作物の農業生産者の経営に大きな影響を及ぼしていることから、本市独自の臨時給付金を支給することにより、農業経営の継続を支援する

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

新規

少子化対策事業費

肉付け

事業費：9,077千円

概要

- (1) **おめでとう赤ちゃん祝品支給**
出生した父または母に対して応援メッセージや育児用品を支給
- (2) **結婚新生活支援**
結婚に伴う新生活を始めるための費用を助成
- (3) **記念撮影コーナー設置**
婚姻届または出生届の提出に際し、記念撮影コーナーを設置



10

（市長説明の概要）

- 今回補正予算で計上した「少子化対策事業費」
- 本市の出生数及び婚姻数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年大きく減少していることを踏まえ、結婚、出産、子育てを希望する市民を後押しするとともに、子育て世帯をやさしく包み込む社会的機運の醸成を図るため、出産祝品支給をはじめとする予算を計上

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

新規

デマンド型交通実証運行事業費

肉付け

事業費：4,991千円

概要

ICTを活用したデマンド型交通の実証運行に向けて、課題の分析・実証運行計画の策定を行う。



12

（市長説明の概要）

- 今回補正予算で計上した「デマンド型交通実証運行事業費」
- 令和5年度に予定しているICTを活用したデマンド型交通の実証運行に向けて、課題の分析及び実証運行計画の策定を行う

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

拡充

学校給食物価高騰対策事業費

事業費：7,736千円

肉付け



物価高騰の中、保護者負担を増やさな
いために学校給食の値上げは行わず、こ
れまで通りの学校給食を提供するため、
食材の高騰分を補助する。

新規

学校と地域の未来創生事業費

事業費：410千円

肉付け



西小林地区全体の学校施設の統合、学校
施設と他の公共施設の集約化、複合化な
ど、今後の西小林地区全体の教育施設整
備の在り方について、検討を行う。

13

（市長説明の概要）

- 教育に関すること
- 「学校給食物価高騰対策事業費」。物価高騰の中、保護者負担を増やさな
いために学校給食の値上げは行わず、これまで通りの学校給食を提供する
ため、学校給食会に対し、食材の高騰分を補助
- 「学校と地域の未来創生事業費」。西小林地区全体の学校施設の統合、学
校施設と地域内の他の公共施設の集約化、複合化など、今後の西小林地区
全体の教育施設整備の在り方について検討を行う

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

時勢に対応した経済対策と新型コロナへの対応

継続

こばやしの人とまちが輝く！元気と笑顔創出事業費

事業費：6,500千円

概要 イベント等事業費補助

新しい生活様式の下で、市民活動団体、事業者等が行う市民に元気と笑顔を届けるための事業や商店街等が行う消費喚起のためのイベントに要する経費を補助する。

① 元気と笑顔創出事業費補助

100千円 × 40事業

② にぎわい回復事業費補助

500千円 × 5事業



14

（市長説明の概要）

- 当初で計上した「こばやしの人とまちが輝く！元気と笑顔創出事業」
- 昨年に引き続き、市民の創意と工夫にあふれる活動やイベントに要する経費を補助する事業を実施

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT >>>>> 健幸のまちづくりの推進

拡充

健幸都市推進事業費

肉付け

事業費：16,776千円
（うち肉付：16,054千円）

概要

歩くことの習慣化に向けた実践

(1) こばやし健幸ポイント

働く世代の健康づくりの推進

(2) 健幸づくり企業認定制度

市民の健康意識向上

(3) 健幸アンバサダー養成講座

健幸のまちづくりの普及&啓発

(4) 啓発コンクール



15

(市長説明の概要)

- 「健幸のまちづくりの推進」の事業について、まずは「健幸都市推進事業費」
- 昨年度に引き続き、市民総ぐるみで健幸のまちづくりを推進する必要があるため、市民の歩くことの習慣化に重点を置いた「こばやし健幸ポイント」をはじめとした各種事業の展開を図る予算

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT

健幸のまちづくりの推進

新規

健幸のまちづくり拠点施設整備事業費

事業費：41,745千円

肉付け

概要

基本設計策定

体育館機能を中心に、健康づくり・子育て支援・避難所機能も備えた「健幸のまちづくり推進」の拠点となる複合型総合体育施設整備に係る基本設計を策定する。



16

（市長説明の概要）

- ・ 「健幸のまちづくり拠点施設整備事業費」
- ・ 体育館機能を中心に、健康づくり・子育て支援・避難所機能も備えた「健幸のまちづくり推進」の拠点となる複合型総合体育施設整備に係る基本設計を策定する予算

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT >>>> 地方創生の推進

新規 観光施設維持管理費（臨時）

肉付け

事業費：43,852千円



すきむらんど

- ・ 農林漁業体験実習館の解体・芝生広場へ
- ・ キッチンカー導入
- ・ 多目的トイレへの改修

事業費：26,400千円



道の駅ゆ〜ぱるのじり

- ・ 売店エリア改修
- ・ レストランエリア改修

17

（市長説明の概要）

- ・ 「地方創生の推進」の事業について
- ・ 人を呼び込み、外貨を獲得する観光の推進を行うため、観光施設等の整備を行う予算を組んでいるが主のものとして「すきむらんど」と「道の駅ゆ〜ぱるのじり」の施設整備を行う。
- ・ すきむらんどに関しては、農林漁業体験実習館を解体し、アクティビティのエリアとして芝生広場を造成するほか、キッチンカーの購入、トイレの改修を行う
- ・ ゆ〜ぱるのじりに関しては、ゲートウェイとして、核となる売店レストランエリアの改善。小林市の食材や物産品を魅力的に発信できるよう改修を行う

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT >>>> 地方創生の推進

継続 全国和牛能力共進会事業費

事業費：10,696千円

概要

4大会連続の内閣総理大臣
賞受賞を目指し、関係団体
と連携し、出品に対する支
援を行う。



18

（市長説明の概要）

- 当初で計上した「全国和牛能力共進会事業費」
- 今年の10月6日から10日までの日程で開催される全国和牛能力共進会鹿児島大会に、本市から多くの代表牛を出品し、優秀な成績を収めることで、小林市産宮崎牛の認知度向上を図るもの
- 6月3日（本日）、西諸代表決定検査（第2～6区）
- 8月2日、6日の宮崎県代表決定検査に向けて、これまで以上に関係機関が一体となって、「日本一の努力と準備」のもと、大きな目標に向けて着実に歩を進めていく

令和4年度予算（骨格・肉付け予算）

POINT >>>>> 地方創生の推進

継続 シティプロモーション推進事業費

事業費：102,959千円

概要

関係人口の拡大、ふるさと納税制度との相乗効果も狙った戦略的なプロモーションを実施する。また市民の郷土愛醸成を促すプロモーションも展開する。

（現時点での展開）

- ・新たに「ハッシンコバヤシ!!」スタート
- ・マスメディアと連携したプロモーション動画制作・CM放映
- ・TVドラマタイアッププロモーション



19

（市長説明の概要）

- ・当初予算で計上した「シティプロモーション推進事業費」ですが、4月に新たな情報発信プロジェクトとして「ハッシンコバヤシ!!」をスタートしたところ
- ・マスメディアと連携したプロモーション動画の制作・CM放映や、TVドラマタイアッププロモーションを展開中
- ・今後もさまざまな展開をしていくが、市民や関係団体が一緒になって小林市の魅力をハッシンしていこうというコンセプトもあるため、市民と一体となったプロモーションを展開していきたいと考えている



小林市 定例記者会見

20

(市長説明の概要)

- 今回の定例記者会見が小林市長二期目初めての定例記者会見となった
- 今後も新型コロナウイルス感染症対策に万全を期して取り組んでいく